

令和２年度第１回 大津町振興総合計画等評価委員会 議事概要

【日 時】令和２年１１月１６日（月） 9:30～

【場 所】オークスプラザ２階ふれあいホール

【出席者】委員１２名（欠席１名）

■次第

１．開会

２．委嘱状交付

３．町長挨拶

４．議事

- ①委員長、副委員長の選任について
- ②議事録の公開について
- ③第６次大津町振興総合計画に基づく各施策評価について
 - i. 施策の大綱「１．産業」分野について
 - ii. 施策の大綱「２．福祉・保健」分野について
- ④その他

５．閉会

質問・意見等	回答
「１．産業」分野について	
● 有害鳥獣の対策について、鉄柵の補助金も検討いただけないか。 ● 基幹産業の甘藷の被害が拡がらないように対策をお願いしたい。 【大村委員（JA 菊池大津中央支所 理事）】	● 電牧以外の鉄柵も他の補助金にはあると思いますので、そういった要望があれば対応していきたいと思っている。 ● 甘藷の被害については、JA の部会で対策会議をされていたり、JA の部会に入られていない方に対しては、県の営農指導員の方から対策をどうすれば良いかという説明会をさせて頂いている。
● 市街地の活性化について、「大津駅を中心とした」とあるが、南口側の方は活気がある一方、北口側は線路があって古くからの商店街と町の中心部が分断されている。 【山本委員（大津町商工会 副会長）】	● 北口についても、昨年、肥後大津にっこり会というおかみさんたちなどで構成するまちおこしの団体ができているので、そちらを中心に北口、南口を合わせたところで、駅を中心とした商業活性化を目指している。そのほか、今年は北口でも肥後おおづ観光協会さんのほうで、上井手の水車を中心としたところでイルミネーションを展開していただいております。そのような形で、少しでも魅力ある地域づくりを心がけていきたいと思う。

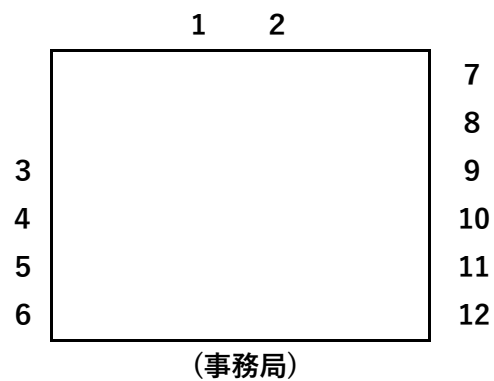
● 駅の立体化は考えにないのか。 【山本委員（大津町商工会 副会長）】	● JR とも協議を進めながら、肥後大津駅を今後どのような形で整備していくのか、どのような取り組みがベストか、検討を進めたい。
● 肥後大津駅を中心としたインフラ整備は全体的に行われており、それを機会と捉えて、これからの大津の観光戦略を総合的に描いた上で、それに基づいて具体的なことを検討した方がいいのではないか。 【山下委員（肥後おおづ観光協会 理事）】	● 南阿蘇鉄道については、全面復旧に伴い、協議会のほうで豊肥線乗り入れが決定されている。今後は JR との協議に移るが、この中でも南阿蘇鉄道、トロッコ列車、観光列車等について大津駅までの乗り入れをお願いしている。 ● 空港への新しいアクセス鉄道については、推進に向けて、県が 1 年かけて調査をするということなので、その結果を注視していきたい。 ● 現在通っている空港ライナーについても、利用客の伸びなどに注意をしながら、大津町の活性化につなげていきたい。 ● 自動車道と鉄道と空路からのアクセスの中心として、町の玄関口として、肥後大津駅が重要なポイントを占めるところであり、駅の利活用、整備案等について、観光面も踏まえて色々と検討していきたい。
● スポーツコンベンション事業について、卓球大会を今回実施されており、宿泊も含めて効果が上がっている。今までにない取り組みをスポーツを含めてやられているし、それなりの事業展開をされてきているので、観光入込客数という評価になると、B ではなく A 評価でもいいのではないか。 【中尾委員（大津町教育委員会教育長代理）】	● 取り組みの成果に対して、数値目標と照らし合わせて本当にこの評価が正しいのか、今一度検討していきたい。
● 今度、大津町でモルックという競技の九州大会が行われる。今後、町内で、モルック推進に向けて、みんなで取り組めるように検討が必要ではないか。 【山下委員（肥後おおづ観光協会 理事）】	● 次年度の評価に反映されるような取り組みを頑張っていきたい。
● 清正公道（加藤清正の頃から存在する参勤交代道路）を活用した取り組みについて検討していただきたい。 【府内委員（大津町防災士連絡協議会会長）】	● ご要望につきまして検討させていただきます。
「2. 福祉・保健」分野について	
● ひとり親家庭の医療費とこども医療費の助成事業について B 評価となっているが、必要な方には医療助成をきちんとしているというこ	● 施策評価については、事業ごとの評価を平均値化して機械的につけているので、各事業の評価で決まるところである。各事業の評価に

とであれば、A 評価でも良いのではないか。 【中尾委員（大津町教育委員会教育長代理）】	については、委員からのご意見を踏まえ、次年度の評価に反映したいと考える。
● 地域福祉・障がい福祉の推進というところで、身体障がい者福祉会で、イベントへ行く際に小型バスを出してほしい。 【松本委員（大津町身体障がい者福祉会理事）】	● バスを町で出すのはなかなか難しいので、施設等のバスを借りていただく時の調整へのご協力と、費用等については身体障がい者福祉会が実施される物販等へのご協力をさせて頂くというかたちで対応させて頂いている。
● 高齢者福祉に関して、サービスが行き届いていない方への声掛け等の対応をお願いできないか。 【小西委員（大津町女性の会 会計）】	● 介護保険課に地域包括支援センターがあり、そこで高齢者の方へチェックリストを送付したり、相談を受けたりして、アンテナを張っている。個別に相談や情報提供いただければ、利用することのできるサービスの紹介等できるので、ご協力をお願いしたい。
● 地域福祉というところで、他自治体の様に相乗りバスや便利カーなどの採用や、買い物弱者に対する支援などがあればお聞きしたい。 【山下委員（肥後おおづ観光協会 理事）】	● 高齢者の外出支援については、「外出支援サービス事業」にて、ご自宅と医療機関、公共機関等への行き来を一定額支援するという対応を行っている。 ● 買い物弱者に対する支援のひとつとして、移動販売については、JA 菊池と、北部や南部のお店がないところを回っていただくように計画をしている。実際に今 1 台は北部を中心に回ってもらっている。
● 移動する手段というのは、定常的に動いているものに乗っていけば良いのか、それとも新たに申請しないといけないのか。 【山下委員（肥後おおづ観光協会 理事）】	● 町周辺部（北部と南部）から町中心部に来るためには「乗合タクシー制度」があり、時間帯も決まっている予約制であるが、タクシー事業者に連絡をすれば利用することができる。逆に中心部から帰るときも予約することで利用できる。 それ以外には、障がいがあり車の運転ができないなど、一定の要件を満たした方には「外出支援タクシー」のチケットを配って対応しているところである。
● 高齢者や障がい者が利用しやすいような移動手段を考えていただきたい。 【山下委員（肥後おおづ観光協会 理事）】	● 公共交通を担当している総合政策課と福祉課を中心に、今後、どのような制度が一番住民にとって利用しやすいか、検討・調査を進めていきたい。
● 道路整備を着実に進めてほしい。また、乗り合いバスやタクシーについては、町から発信することが必要ではないか。 【吉永副委員長（大津町区長会 会長）】	● 道路交通網も含めて交通計画については担当部署と情報共有しながら計画を立てていく。交通利用手段については、十分伝わるように広報やホームページ、その他会議等の機会で

	周知を図りたい。
--	----------

以上

区分	所属等	氏名	席番号
学識経験者	熊本県立大学	黄 在 南	1
関係機関及び団体	大津町区長会	吉永 敏明	2
関係機関及び団体	大津町防災士連絡協議会	府内 清喜	3
関係機関及び団体	大津町女性の会	小西 悦子	4
関係機関及び団体	大津町民生委員児童委員協議会	吉田 和信	5欠席
関係機関及び団体	大津町身体障がい者福祉会	松本 カズヨ	6
関係機関及び団体	J A 菊池大津中央支所	大村 吉幸	7
関係機関及び団体	大津町企業連絡協議会	國武 幸弘	8
関係機関及び団体	大津町商工会	山本 セツ	9
関係機関及び団体	肥後おおづ観光協会	山下 和貴	10
関係機関及び団体	大津町教育委員会	中尾 精一	11
その他町長が認めた者	公募委員	宇野 馨	12



令和2年度第2回 大津町振興総合計画等評価委員会 議事概要

【日 時】令和2年11月17日（火）9:30～

【場 所】オークスプラザ2階ふれあいホール

【出席者】委員12名

■次第

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 議事

①第6次大津町振興総合計画に基づく各施策評価について

i. 施策の大綱「4. 生活環境基盤」分野について

ii. 施策の大綱「5. 町政運営」分野について

②その他

i. ご意見シートの提出について

ii. 評価委員会アンケートの提出について

4. 閉会

質問・意見等	回答
「4. 生活環境基盤」分野について	
- 安全・安心な生活道路の形成のところで、路線バスについて、現在乗客がどんどん減っているが、町としてはこのまま路線バスの運行を継続するのか。 - スクールバスを路線バスの方で再利用することは可能か。 【宇野委員（公募委員）】	- 路線バスについては、利用者が少ないが、通勤通学時間帯に利用している方もいるので、町としては交通の維持に努めていきたい。 - 現状ではスクールバスについては交付金の関係で、小学校で2km、中学校で4km未満の児童・生徒は使えないようになっている。教育委員会と話して、今度の対応を検討したい。
工業用水道の安定供給について、西原村からそろそろ契約を解除するといった話を聞いている。今後、町として水の安定供給について、どのような計画を立てているのか。 【國武委員（大津町企業連絡協議会 会長）】	南部工業団地の水道については、いま、分水とかたちで西原村から頂いているが、これが令和5年度末でいったん終了する。今後、どうするかというところで、町として一番いいのは契約継続と考えているが、西原村の議会の承認を経る必要もあるので、基本的な設計を1回見直して、また新しく協議を進めて行きたいと思っている。
野良猫の餌やり、野犬についての町の対応は？ 【山本委員（大津町商工会 副会長）】	野良猫への餌やりについては、巡回して、発見したら注意を行っている。また広報等でお知らせして、猫の餌やりは良くないという啓発を行っている。野犬については、保健所と協力

	して野犬の捕獲を行っている。
● 交通施策に関連して、高架駅等の話も町の中心地活性化のために必要と考える。また、それを踏まえた上で、空港ライナーと鉄道の連携を考えるプロジェクトや検討会を行い、どこに注力していくかというインジケータの提示が必要と考える。 【山下委員（肥後おおづ観光協会 理事）】	● 関係課と調整して、そのあたりをいつでも明確に町民に示せるように今後検討していきたい。
● 生活安全性向上の「地域の防犯対策の強化」について、防犯ビデオ以外で取り組まれているものがあれば教えていただきたい。 【中尾委員（大津町教育委員会教育長代理）】	● 防犯カメラの設置については、昨年 5 か所ほど設置したが、今後、犯罪抑止のために設置数を増やしていきたいと考えている。そのほか、地域での防犯活動の取り組みについては、年に 2 回、区長会議で警察から犯罪抑止についてお話し頂いたり、地域ぐるみで朝と夕方の見守り活動を行っていただいている。町としても、防犯パトロールを強化しながら、地域の安全性、防犯関係の強化を図りたい。
● 「地域の防犯対策の強化」について、現在、防犯灯の設置に関しては町のほうで行っていただいていると思うが、街灯についても新たに設置する際には、全額補助ということでお願いしたい。 ● 防犯パトロールを行った結果の共有を今後お願いしたい。 【吉永副委員長（大津町区長会 会長）】	● 街灯は地域の要望に応じて 3 分の 2 補助を行っているが、防犯灯については、今後も町が点検をして、危険な場所においては区長と相談しながら設置の方向で進めていきたい。 ● 防犯パトロールについては、児童生徒の登下校を中心として協議会と連携しながら全地域をパトロールしている状況である。今後、機会があれば、地元区長と情報共有しながら、区長会のほうでも連携させて頂ければと思う。
「5. 町政運営」分野について	
● 女性区長の数、69 行政区のうち 2 人と、割合的に大変少ないのは課題と感じる。 【小西委員（大津町女性の会 会計）】	● 女性区長の登用については、地域での推薦というかたちになるので難しい部分はあるが、男女共同参画について今後さまざまな場所で啓発や広報等を進めていきたい。
● 大津町消防団強化事業について、計画的に進められているということであり、消防団についても 630 名のうち 627 名が活動されているということなので、B 評価ではなく A 評価で良いのでは。また、今後消防団について、どのようにお考えか。 【中尾委員（大津町教育委員会教育長代理）】	● 消防団については、なかなか団員の確保を苦労していると聞いている。特に平日の昼間に火災が起きた場合、会社に勤めている消防団員がほとんどなので、高齢者が地域に残ってしまうという不安もある。防災の方策としては、自主防災組織の強化ということで、消防団 OB にお願いできたらと考えている。今後、町としては、各分団長と連携して町民の安心・安全の確保に努めていきたい。

● 「ふるさと寄附事業」の中にある「返戻品」の表記は、「返礼品」と表記した方が良いと思う。今後、特産品の開発という面でもふるさと納税には注力することが必要。 【山下委員（肥後おおづ観光協会 理事）】	● 「返戻品」の漢字については単純に変換ミスであり「返礼品」に修正する。今年は、ウェブサイトでもふるさと寄附を PR しており、そちらのチャンネル数を増やしたり、特産品の開発についてもそれぞれの事業者に開発、出品を促すといった取組をしてきたため、現時点で昨年の寄付額を超えている。コロナ禍で全体的にふるさと納税が増えていることもあり、高齢者がウェブサイトを見てたりするので、引き続き、事業者、寄付者両面において、広報周知を図っていきたい。
● 災害への対応力強化のところで、「防災備蓄倉庫の新設を行って」とあるが、防災備蓄の期限は決まっているのか。期限を過ぎた備蓄品についてはどうしているのか。 【山本委員（大津町商工会 副会長）】	● 防災備蓄については、基本的に賞味期限 5 年というかたちで備蓄の管理を行っている。6 万食の備蓄をしており、毎年 1 万 2000 食ずつ入れ替えている。期限がきた備蓄については、毎年町で行っている防災訓練の際に、備蓄食料の紹介を兼ねて、提供しているところである。
● 公共交通体系の整備というところで、渋滞や混乱がひどいと感じているので、道路整備を優先して対応していただきたい。前に進んでいないので、前向きにいつごろまでにしたいという回答を頂きたい。 【吉永副委員長（大津町区長会 会長）】	● 渋滞緩和に関しては町だけの問題ではないので、県道、国道を含めて、連携してやっていきたい。今回 JR が開通した関係で、踏切等の混雑が出ているが、それについては、JR ほか関連する機関と検討したいと思っている。 ● 道路整備に関しては、大津町のマスタープランや県の区域マスタープランなどに則った計画を立てていく形がベストだと考える。事業を遂行するにあたっては、関係機関との協議や、用地が伴うのであれば用地交渉等も必要になる。また、町単独事業としては実施できないものであることから補助金等の検討もしないといけないため、どんなに早くても 5 年～10 年スパンでしかやっていけないところである。
● 路線バスの運行状況について詳しく教えていただきたい。乗合バス等の導入について町はどのようにお考えか。 【松本委員（大津町身体障がい者福祉会理事）】	● 町内を走っている路線バスは、九州産交バス、産交バスの 2 社であり、町としてはこの 2 社に対して赤字経費分の補償を行っている。町中心部への移動を考えた時に、乗合バスよりも乗合タクシーの方が高齢者にとって利用しやすいと考えるため、乗合タクシーを優先してサービスを行っている。

● 57 号の復旧ルートが開通したのに伴い、渋滞がひどくなっている。渋滞問題についてどのようにお考えか。 【宇野委員（公募委員）】	● 北側の復旧ルートが開通して、実際土日に渋滞が発生していることから、今、県と対策を話しているところである。今後、国、県、町と連携しながら、道路改良が必要なところは道路改良していくといった方向で検討を進めたいと考える。
--	---

以上

区分	所属等	氏名	席番号
学識経験者	熊本県立大学	黄 在南	1
関係機関及び団体	大津町区長会	吉永 敏明	2
関係機関及び団体	大津町防災士連絡協議会	府内 清喜	3
関係機関及び団体	大津町女性の会	小西 悦子	4
関係機関及び団体	大津町民生委員児童委員協議会	吉田 和信	5
関係機関及び団体	大津町身体障がい者福祉会	松本 カズヨ	6
関係機関及び団体	J A 菊池大津中央支所	大村 吉幸	7 欠席
関係機関及び団体	大津町企業連絡協議会	國武 幸弘	8
関係機関及び団体	大津町商工会	山本 セツ	9
関係機関及び団体	肥後おおづ観光協会	山下 和貴	10
関係機関及び団体	大津町教育委員会	中尾 精一	11
その他町長が認めた者	公募委員	宇野 馨	12

